令和6年度　事後評価シート

【事務事業シート】

1

当初									
事　項	**人と動物が共生する豊かな地域社会づくり推進事業費**							予算主管課	薬務衛生課
事業概要	犬猫殺処分頭数を削減するため、譲渡数の増加や小中学生への正しい飼い方の講習に取り組むとともに、河川敷の野犬対策強化やペットの防災対策を推進するなど、人と動物が共生する豊かな地域社会づくりを進める。							始期	2023
								終期	2025
ＫＰＩ	**動物愛護センターの犬猫の譲渡数**								
	KPI種別	上がると良い指標	Ｒ５年度		Ｒ６年度		Ｒ７年度		Ｒ８年度
	Ｒ４年度		目標値	500 頭	目標値	550 頭	目標値	600 頭	目標値	0 頭
	実績値	293 頭	実績値	395 頭	実績値	227 頭	実績値	頭	実績値	頭
	ストック/フロー	フロー	達成率	79 %	達成率	41.3 %	達成率	%	達成率	%
コスト			最終現計予算額	11,768 千円	最終現計予算額	8,876 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円
			決算額	11,600 千円	決算額	8,152 千円	決算額	千円	決算額	千円

6年度		
要因分析	要因	犬猫の譲渡動物専用の飼養施設を令和４年度に新設し、譲渡に取り組んでいるところであるが、収容される犬猫が減少傾向にあることから、これまで殺処分対象としていたかなり幼齢な動物についても譲渡対象とすることとした。このため、飼養する期間を大幅に伸ばすことが必要となったため、譲渡が想定より進まなかった。また、譲渡頭数が減少した要因として、仲介者譲渡頭数の大幅な減少があげられ、これは譲渡仲介者の飼養状況等の個別の様々な事情によるものと考えられる。
	総括	
見直し方向性	改善	これまでの新設された譲渡動物専用施設の有効活用等に加え、令和７年度からは譲渡機会向上のため、これまで動物愛護センターでの現地受講のみであった譲渡前講習会のオンライン受講や譲渡動物の効果的な周知に取り組むとともに、譲渡仲介者の事情を勘案しつつ仲介者譲渡頭数の増加を図る。

2

当初									
事　項	**人と動物の共生推進事業費（東予）**							予算主管課	薬務衛生課
事業概要	犬猫の送致頭数が県内有数の今治圏域において、岡山理科大学、獣医師会、今治保健所などが連携し、地域の主体的な活動を推進することで、人と動物が共生できる地域社会づくりを進める。							始期	2024
								終期	2026
ＫＰＩ	**犬猫の苦情件数**								
	KPI種別	下がると良い指標	Ｒ５年度		Ｒ６年度		Ｒ７年度		Ｒ８年度
	Ｒ４年度		目標値	364 件	目標値	415 件	目標値	407 件	目標値	291 件
	実績値	291 件	実績値	169 件	実績値	200 件	実績値	件	実績値	件
	ストック/フロー	フロー	達成率	215.4 %	達成率	207.5 %	達成率	%	達成率	%
コスト			最終現計予算額	千円	最終現計予算額	1,093 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円
			決算額	千円	決算額	1,028 千円	決算額	千円	決算額	千円

6年度		
要因分析	要因	様々な啓発事業が苦情件数の減少につながった可能性がある。
	総括	
見直し方向性	維持	無責任な餌やりにより繁殖が亢進した結果、地域の野良犬・猫が増え、苦情件数の増加及び捕獲、殺処分の増加につながるため、これをさらに抑制するには、犬猫の餌やり場、繁殖ポイントを適切に把握する必要もあることから、モーションセンサーカメラのさらなる導入を図る。 なお、国際港をかかえ、また橋で本州とつながっている当地区は、万が一狂犬病が持ち込まれた場合、重大な危惧があるため、喫緊の対策が必要である。